

2024年 3月 23日
13:00～15:30

繊維学会 第708回 理事会議事録

1. 確認事項

出席理事 大田康雄、辻井敬亘、奥林里子、村瀬浩貴、鬘谷要、花田朋美、濱田仁美、増田正人、大松沢明宏、松葉豪、末信一朗、清水宏泰、森下美由紀、中澤靖元、櫻井伸一、吉村利夫、竹中幹人、齋藤継之、山崎睦生、竹本慎一、佐瀬正和、道信剛志、内田哲也、香出健司

欠席理事 木村睦、武野明義、神山統光、逸見龍哉、出口潤子、吉松丈博

監事 金谷利治、土田亮、小原奈津子 (順不同、敬称略)

会場 オンライン開催

大田会長の司会で、理事30名のうち、出席理事24名、監事3名の出席を確認した。過半数の理事の出席があり、定款 36 条により本理事会は有効に成立した。本理事会は、オンライン開催（執行部のみ対面）にて行い、理事の意思表示は発言や挙手にて決議した。続けて、大田会長が議長となり議事に入った。

2. 審議事項

1) 会員入退会の件・・・<資料1>

3月19日（火）現在の会員数について別紙の通り報告された。正会員数991名（正会員919名、名誉会員15名、永年会員57名）、学生会員274名、維持会員12団体（増減なし）、賛助会員89団体。学生会員数の大幅な減少は、毎年年度末に学生会員に対して継続の意思確認を行ったことから、卒業などに伴う退会者が増加したことが説明された。同時に、年次大会での発表や参加に伴う学生の新規入会も多く見受けられたことも伝えられた。正会員の退会者の多くは高齢化、退職や離職、ご逝去によるものであった。同時に会員減少についての懸念も伝えられた。理事へ、今後の会員増強に関する協力が求められた。

【審議結果】

入退会報告について、異議なく承認された。

2) 本年度学会賞各賞、論文賞候補者選考結果の承認について

2024年2月17日（土）に論文賞候補者選考委員会が開催されたこと、選考結果について奥林運営委員長より説明がなされた。また、受賞紹介記事が繊維学会誌5月号に掲載されること、年次大会2日目に6月13日(木) 16:00～表彰式・受賞講演が予定されていることについても併せて伝えられた。

【審議結果】

提議について、各賞の受賞候補者について異議なく承認された。承認された2023年度各賞受賞者は下記の通り。

【学会賞】

道信 剛志 東京工業大学

「クリックケミストリーを利用した機能性繊維・高分子材料の創製」

高崎 緑 京都工芸繊維大学

「レーザー加熱エレクトロスピンングによる極細繊維化と繊維構造制御に関する研究」

【技術賞】

東洋紡エムシー株式会社 谷中輝之、金子幸生、井上拓勇、竹森慶博

「三層構造型網状繊維構造体「ブレスエアー®」の開発」

【奨励賞】

朱春紅 信州大学

「パーソナル熱管理に向けた高機能スマートテキスタイルの研究」

【功績賞】

木村邦生 岡山大学

「重合相変化法を利用した剛直高分子の高次構造制御に関する研究と繊維学会活動への貢献」

菅沼薫 武庫川女子大学

「繊維科学を背景とした美容・皮膚科学分野への展開と産業応用」

続けて、論文賞選考結果についても、別紙にて鬘谷編集委員長より提議された。

【審議結果】

提議された論文賞候補者について、異議なく承認された。承認された2023年度論文賞受賞者は下記の通り。

【論文賞】

古谷勉 京都大学

「広い散乱ベクトルレンジと広いダイナミックレンジを備えた小角光散乱装置」

Maika Tamari 和洋女子大学

「Evaluation of Exothermicity of Moisture Absorption and Endothermicity of Moisture Release Characteristics of Clothing Materials Using “Two Connected Artificial Climate Chambers” and Contact and Non-Contact Temperature Sensors」

Keishi Naito 岐阜大学

「Acceleration of Crazeing on Polyacrylonitrile Through Solid or Liquid Coating」

3) 本年度本部収支見通しについて・・・<資料2>

事務局より資料2に基づき、本年度の収支見通し並びに次年度予算について説明がなされた。収支差として、期初予算に比べ△3,626,000円の収入減であることが説明された。多くは、行事収支減、会費収入減、対面会議費用増、学会誌費用増が理由としてあげられた。これらの理由から、本年度、特定資産からの取崩補填(案)について提議された。

・ 2,800,000万円 特定資産より取崩

(内訳：学会賞積立 1,500,000円、特定資産積立金1,300,000円)

・ 小島基金積立 学生会員費700,000円、職員退職積立引当金 300,000円予定

【収入】

年会費 (17,950,000円)

内訳：正会員 (991名) *内訳:正 (958名)、名誉 (15名)、永年 50年 (57名)、維持会員 (12社)、賛助会員 (89社)、学会誌購読 (70箇所)

内訳：購読 (2,290,000円)、JFST (2,390,000円)、広告 (1,327,000円)、

行事収支 (15,228,000円) 内訳：内訳：年次 (7,295,020円)、夏季 (2,574,955円)、秋研 (4,199,395円)、基礎 (786,000円)、応用 (373,000円)

【支出】

一般管理費（17,583,000円） 内訳：人件費、退職引当、雑給与、
学会誌刊行費用（11,980,000円）、学会行事費支出（10,740,000円）、学会活動費（支
部・研究委員会事業）（4,037,500円）、学会賞他（845,716円）出版事業費支出
（110,000円）

【審議結果】

理事会以降3/31の年度末まで収支については精査することを前提に、特定資産取崩並びに
次年度予算案について異議なく承認された

4) 次年度事業計画承認について・・・<資料3>

(本部・支部・研究委員会)

事務局より次年度事業計画承認について説明がなされた。次年度は事業計画に則って学会
を運営していくことについて提議された。

【審議結果】

一部支部長の交代に伴う氏名変更に加え、80周年記念行事に関する記載の統一など指摘が
あった。修正することを前提に仮承認された。改めて、5月の理事会に於いて修正後の次
年度事業計画を再提議し、承認を得ることとした。

5) 年次大会名称について

石井実行委員長より「2024年繊維学会年次大会（創立80周年記念大会）」としたい旨、
提案があり、大田会長より提議された。

【審議結果】

理事からは満場一致で「2024年繊維学会年次大会（創立80周年記念大会）」とすること
が承認された。

6) 80周年記念行事 ISF2024 の協賛金について・・・<机上配布>

辻井副会長より現在の準備状況、開催の趣旨などが改めて説明された。その上で、主に企
業理事に向けて、公式スポンサー案についての説明と協力依頼がなされた。

スポンサー案として、展示（2日間、会場内で展示／キャリアカフェ、参加1名無料）20
万円／ブース、広告（A4版）8万円／1頁、5万円／半頁、バナー（HP掲載および会場
内掲示）5万円、バック等のノベルティー協力で募集をすることが伝えられた。

企業理事、維持・賛助会員向けには、公式スポンサーパッケージとして公式ゴールドスポ
ンサー 25万円〔会場内ブース、参加2名無料、広告1頁、バナー〕、または〔参加3名無
料、広告1頁、バナー〕公式シルバースポンサー 15万円〔参加1名無料、広告1頁、バナ
ー〕、公式ブロンズスポンサー 10万円〔広告1頁、バナー〕を優先的に用意することが伝
えられ、設定金額等について提議された。

【審議結果】

企業理事へ金額設定等についての意見を求めた結果、上記提案について異議なく承認され
た。なお、自助努力も惜しまず、外部資金の獲得、特に国際会議基金やコンベンションへ
の補助金申請なども積極的に取り組んでいくことが伝えられた。その上で、今後、維持・
賛助会員へ順次スポンサー募集の協力依頼を進めることとした。

3. 報告事項

1) 80周年記念事業の進捗について・・・<資料4>

・審議事項と併せて報告がなされたため、追加での説明は省略された。

2) 三学会会長・副会長懇談会(第3回)開催について・・・<資料5>

- ・大田会長より前回の懇談会についての報告がなされた。議事録について、理事会資料として改めて共有された。
- ・木村理事から質問のあった、議事録を速やかに一般会員へHP等で公開する件については、懇談会の繊維学会だけでは決められないことが伝えられた。透明性の高い情報公開として検討すること、まずは、次回3/31の三学会会長・副会長懇談会(第4回)において、2学会と議論することが大田会長より伝えられた。
- ・今後の進捗については、引き続き理事会で随時報告を行うことも伝えられた。

3) 企画委員会 基礎講座の準備状況について

「2024年 繊維学会基礎講座(仮)～700分で学ぶ繊維の基礎と先端研究～」

2024年7月18日(木)、19日(金) オンライン開催

2024年度の講師へ継続して依頼の準備中

新規講師として、松葉理事へ依頼、ご内諾済

4) 報告・連絡事項

1 東北・北海道支部(支部長 松葉理事)

- ・2023年度繊維学会東北・北海道支部講演会報告

2024年3月21日(木) 開催

- ・令和6年度化学系学協会東北大会

2024年9月14日(土)、15日(日) 開催

秋田大学手形キャンパス

- ・東北・北海道支部長 山形大学 松葉豪(マツバゴウ)先生留任

2 関東支部(支部長 中澤理事)

- ・関東支部講演会

「組織工学からの食糧革命～細胞性食肉の動向と先端技術～」報告

2024年3月18日(月)、参加者50名強

- ・2024年度年次大会 実行委員会からの継続協力要請

展示、広告掲載への協力依頼、発表・参加を募集中

- ・関東支部長 東京農工大学 中澤靖元(ナカザワヤスモト)先生留任

3 東海支部(支部長 武野理事)

- ・東海支部幹事会

2024年3月28日(木)

- ・東海支部長 名古屋工業大学 永田謙二(ナガタケンジ)先生へ交代。

4 北陸支部(支部長 末理事)

- ・先端技術研究会(福井大学繊維マテリアル研究センター研究発表会 共催) 報告

2024年3月7日(木)、参加者49名

「中性子小角散乱で眺める繊維のミクロ構造と水」茨城大学 小泉 智 先生

「イオン液体構造を有する高分子の基礎物性と応用展開」

福井大学学術研究院 松本 篤 先生

- ・令和6年度繊維学会北陸支部学術普及講演会「災害に備える繊維技術」

日時: 2024年4月18日(木) 13:00-16:20

会場: 福井県工業技術センター 講堂 (〒910-0102 福井市川合鷺塚町 61)

講演：4件

- ・支部役員については現在検討中。
- 5 関西支部（支部長 櫻井理事）
 - ・繊維学会関西支部会議&記念講演会
 - 日時：2024年3月25日（月）
 - 会場：京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 15号館 N205室
 - 「繊維をマトリックスとして用いた複合材料」神戸大学 西野 孝先生
 - ・関西支部長交代予定。次期支部長については、支部会議にて決定の予定。
- 6 西部支部（支部長 吉村理事）
 - ・第8回繊維学会西部支部若手講演会 報告
 - 2024年3月18日(月)
 - ・西部支部長 大分大学 氏家誠司(ウジイエセイジ)先生へ交代。
- 7 研究委員会関係について
 - ・特筆すべき報告はなし
- 8 日仏繊維協力WGについて・・・別紙資料画面共有<資料6>
 - ・大松沢理事から、日仏繊維協力覚書(MoC)見直しの方向性について説明がなされた。その上で、近日中にも日仏でのオンライン会議を開催したい旨、依頼があった。こちらも、今後の進捗については、随時理事会で報告の予定。
- 5) 各委員会からの報告等について
 - 1 運営委員会
 - 今後、論文賞の賞金についてオンラインまたはメール審議にて委員会を開催予定。
 - 4月中に支部長・研究委員長会議をオンラインにて開催予定。
 - 2 将来構想委員会
 - 前回理事会での意見を元に、アクションプラン更新中。
 - 3 国際連携委員会
 - ISF2024のSpecial Session3について鋭意準備中。6名の国内外の招待講演者を準備中であることが伝えられた。
- 6) 編集委員会の報告
 - 1 繊維学会誌・・・内田編集委員長より順調に発行準備が進んでいること、寄稿に関する協力の御礼が伝えられた。
大田会長より、80周年特集号を「80周年記念企画」と連動させていただきたい旨、伝えられた了承された。
 - 2 論文誌JFST・・・鬘谷編集委員長より順調に発行準備が進んでいること、協力の御礼が伝えられた。大田会長より、JFSTについても「80周年記念企画」と連動して、ISF2024での発表者から特集号を準備いただけないか打診された。鬘谷理事からは、次期編集委員長である武野理事と相談の上、前向きに検討することが伝えられた。
- 7) その他案件
 - 1 学会誌広告掲載計画と協力要請の依頼について・・・<資料7>

資料7と共に、今後の学会誌広告掲載について大田会長、事務局から協力を依頼。

- 2 次年度役員(副会長、監事)候補者について
辻井副会長より現在打診中であることが伝えられた。5月の理事会での承認前に、メール審議も検討していることも併せて伝えられた。
- 3 信州大学 繊維学部 Fii「疾走するファイバー展」サイトが更新されたことについて、事務局より該当ページを画面共有し紹介された。
- 4 今後の理事会日程について
5月18日(土) オンライン開催
6月14日(金) 臨時理事会 対面開催(東京)
7月27日(土) 対面開催(東京または関西)
9月7日(土) オンライン開催
11月16日(土) オンライン開催
1月18日(土) 対面開催(東京)
3月22日(土) オンライン開催

【監査委員会】

2024年4月27日(土) 監査委員会 対面開催(東京)

- 5 今後の学会行事担当について
*2027年6月年次大会 別会場手配について検討する必要あり

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
年次大会	関東支部	関東支部	関東支部	関東支部	関東支部
夏季セミナー	中止	西部支部	北陸支部	東海支部	東北・北海道支部
秋季研究発表会	関西支部	東北・北海道支部	関西支部	関西支部	関西支部

4. 監事コメント

【金谷監事】

執行部、理事の運営に感謝するとともに高く評価します。というのも、人口減少は学会だけで解決できる問題ではなく、会員数の減少は仕方のないこと。それに伴う会費収入の減少などで学会運営が厳しい状況に置かれている中でも、学会の活性化や、ISF 2024の開催、将来構想の議論など活発に活動していただいていることに感謝します。そうゆう状況の中で、より効率的でワクワクする活動や必要に応じての組織変更が進められることへも期待しています。本日の報告にもありました通り、三学会統合については丁寧に進めていただいております、風通し良く議論がなされていることも伝わってきました。最終的には、統合するかどうかは会員の総意を受けて結論されるわけですが、WG設置するなど、非常に良い方向に向かって議論が進められていると思います。

【土田監事】

多くの理事に参加いただいて理事会が開催できたことに感謝いたします。会員数が1,000名を切ってしまったことは非常残念ではございますが、これはある程度予測されていたことかと思う。今後できるだけ減少率が低くなるように学会の魅力を高め、理事含め、会員の

皆様からの新規会員の勧誘が必要になるかと思う。日本化学会、高分子学会は終身会員なども設けており、退職後も何らかのご負担をお願いして会員をずっと継続していただく取り組みをしています。繊維学会としても学会誌の郵送からウェブでの閲覧などへ対応を変えて費用は抑えつつ、退職後にも学会への一定の興味を持ち続けていただけるような仕組みづくり、制度を今後検討していかれてはと思います。

【小原監事】

理事の皆様には大変ご尽力いただいていることが伝わる理事会であった。今年は10年ぶりのISF開催で関係される皆様には大変なこととは思いますが、ぜひ宜しくお願い致します。これを機に、学会を盛り上げていってくださることに期待しています。また、3学会の懇談会についても説明から具体的に様子が伝わってきて良かったと思います。今後も、懇談会の情報をこまめに共有していくことが望まれていると思いますので、対応を宜しく願います。加えて、日仏繊維WGでのサステナブルテキスタイル、ファッションに関する説明がありましたが、検討を進める上でぜひ被服分野の大学教員へもお声がけいただき、日仏がお互いで新しい視点を入れていくような活動として進めていっていただきたいとおもいます。

第708回理事会 議事録署名人捺印

議長: _____ 印

監事: _____ 印

監事: _____ 印

監事: _____ 印

以上